



次世代改革の推進に向けて

鳥取県知事 平井 伸治

私は、この四月、「次世代改革」を県民の皆さんとともに実行して「鳥取新時代」への道を切り開くことを宣言し、県政推進に当たることとなりました。鳥取県でこれまで取り組まれてきた情報公開の徹底、現場主義、県民の視点での行政の展開など、地方分権時代の先進県としての改革の理念を引き継ぎながらも、地域発展型の伸び伸び改革へと脱皮させ、改革の果実をしっかりと県民と地域に還元するよう取り組んでいきます。

「元氣な産業 しっかり雇用」

地域経済の発展と安定こそ県民の豊かな暮らしの源泉です。民間の知恵を導入しながら、スピード感を持って機動的に企業支援や県内産業の高付加価値化、販路拡大などを展開することが必要と考えています。

このため、地域の企業経営者等からなる「鳥取県経済・雇用振興キャピネット」を東部・中部・西部の圏域ごとに組織し、官民が協力して当面の重要テーマに即した連携・支援策を戦略的に検討・実施するとともに、県内中小企業の新技術や新商品の開発を支援するためのファンDを創設します。また、当県の低迷する雇用情勢を打開するため、県に求人開拓員を三名配置し、ハローワークと連携した求人開拓を行います。さらに、安全・安心な鳥取県産物のイメージを生かし、「食のみやこ鳥取」の産品として全国に情報発信するための戦略を構築するとともに、アンテナショップについて検討を行うほか、地域ブランドを創造し、積極的な販路拡大等に取り組む団体等への支援を行います。

「人間第一 環境日本一」

医療・福祉など地域のセーフティネットをしっかり整備し、県民の皆さんが健康で生きがいを持って暮らせる鳥取県をつくりたいと考えています。

病院に勤務する医師の不足は当県でも生じているため、病院間の連携による対策等を検討する取組みを進めるとともに、奨学金制度を拡充し、地域医療を支える医師及び看護師の育成確保に努めます。メタボリックシンドロームを始めとする生活習慣病の対策については、医療関係者、企業及び地域住民と一緒に、県民一人一人が健康づくりを意識し実践しようとする「健康づくり文化」の創造に向けた取組みを進めます。また、当県でも北朝鮮による拉致被害が発生しています。県と関係市町が協力し、この問題の早期全面解決の実現に向けて、国に働きかけるとともに、県内被害者の帰国後の支援体制の検討などに取り組みます。

「学び育み 輝く文化」

地域の将来を担う子どもたちの個性と学力を伸ばす教育環境を整備し、安心して子育てできる家庭環境を創造するとともに、歴史と伝統、郷土愛に支えられたふるさと鳥取の風土を大切にし情報発信する取組みを推進していきます。

学向上委員会を設置して、当県の児童生徒の学力の現状を踏まえた具体的な対策を検討し、今後の教育に反映させるとともに、老朽化した高校の改築等の整備を進め教育環境の充実を図ります。また、子育て応援パスポートを発行す

ることにより、市町村及び地域の企業の方々と一緒に子育て子どもを生み育てやすい環境を整備し、社会全体で子育て家庭を応援する機運を醸成するなどの取組みを進めていきます。また、国内最大級の弥生時代の集落跡である妻木晩田遺跡の魅力と価値を国内外に情報発信するため、遺跡見学の見学点となる施設の整備を行います。

「安全・安心 いきいき地域」

平成十二年に発生し、住宅や公共施設などに甚大な被害を与えた鳥取県西部地震の経験等を生かし、万一の時に力を発揮する実践型の危機管理体制を市町村及び地域と連携しながら構築するとともに、コミュニティ振興や国際交流の推進など、いきいきとした地域づくりを進めます。各種の防災対策を着実に推進していくほか、当県における消防の広域化、常備消防の在り方を幅広い観点から議論していきます。また、高速道路を始めとした交通基盤の整備を推進していきます。

こうした施策を着実に進めていくことが私に課せられた使命であると考えていますが、厳しい財政状況の中で県民へのサポートを進めるためには、県庁自らが徹底した行政改革を展開しなければなりません。そのためには、形式主義のお役所仕事を追放するなど行政経営の品質を改善するとともに、県庁内のコンプライアンスを確立し、クリーンで信頼を得られる県庁づくりが必要と考え、「県民サポート クリーン県政」に全力で取り組んでいきます。